

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.30</b>					<b>2.6</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.4</b>	0.15	-	-			2.4
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
<b>1.2 遮音</b>		<b>2.6</b>	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能		2.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
<b>1.3 吸音</b>		<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.9</b>	0.35	-	-			1.9
<b>2.1 室温制御</b>		<b>2.2</b>	0.50	-	-			
1 室温		2.0	0.38	3.0	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		2.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
<b>2.3 空調方式</b>		<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.5</b>	0.25	-	-			2.5
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>2.4</b>	0.30	-	-			
1 昼光率		2.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
<b>3.3 照度</b>		<b>1.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-			
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.8</b>	0.25	-	-			3.8
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>5.0</b>	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	全面的にF を使用する。低VOCの建材も使用している。	5.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>		<b>2.3</b>	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		1.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			3.2
<b>1 機能性</b>		<b>2.6</b>	0.40	-	-			2.6
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>2.6</b>	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>2.6</b>	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	事務室の天井高2.8mとしている。	4.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		1.0	0.33	-	-			
3 内装計画		3.0	0.33	-	-			
<b>1.3 維持管理</b>		<b>2.5</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.31	-	-			3.1
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.3</b>	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	倉庫:床コンクリート金ゴテ押え,壁ALC板素地表し,天井フラットリッ表し	4.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:VLP, 汚水排水及び雑排水:FDPA, EIは不使用	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.3	0.29	-	-	4.3
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	
1 階高のゆとり	階高は6.7mとしている。		5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.0655		5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり	倉庫部は14800N / m2の積載荷重を確保。		5.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性			1.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性	更新が建物機能を停止せず可能。マシンハッチ・ルートも確保。		5.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制	BPI=0.569		5.0	0.01	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.28	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	BEI=非住宅0.57,ERR換算値48%,LED照明設備採用		5.0	0.42	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	ERR換算値=47.8%		5.0		-	-	
集合住宅の評価			3.3		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.28	-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	構内道路舗装(再生加熱アスファルト)		3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用		4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.22	-	-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.68	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			2.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率86%		3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用していない。		5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	駐車場・バイク置場・荷捌き用駐車スペース有り。		4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	
1 騒音			-	-	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.67	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			5.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.33	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない		4.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	